

プレミアム和歌山認定
浄化用馬目備長炭

取り扱い方法！（炭1個当たり）



1
運送の際に炭粉が発生していることもありますので、軽く表面を水洗いしてから、水の中に入れて下さい。

写真は直径24cm、深さ7cmの鍋です。水の量は約2.4リットルです。炭が大きいので3.5リットル程度までなら使用できます。



2
蓋をして一晩そのまま静置して下さい。大事なのは5ミリ程の隙間を開けることです。塩素を蒸発させるためです。但し、それ以上の大きな隙間は作らないで下さい。ホコリっぽい味になります。



3
一晩置いた水は別の容器に移して、飲用して下さい。炭の破片等がないか確認し、飲み込まないように注意して下さい。

概要

これを5回繰返します。 $5 \times 2.4 = 12$ 炭7個なので $12 \times 7 = 84$ リットル。故に、最初の段階では 1kg 84リットル使用できます。

後は、煮沸しての再利用となります。再利用は約3回程度。

即ち、再利用を含めると $84 \times 4 = 336$ リットル使用できます。

(参考・注意！)

- 重量合わせの都合で、1袋に炭が7個無い場合もあります。その場合は、適当に水の量で調整して下さい。炭の重量と、水の量は科学的根拠のあるものではありません。地元で使われている一般的仕様です。炭とは二つと同じ形状が存在しない自然物です。ですから、重量もバラバラですから、炭の重量と、水の量の関係は大雑把でいいです。
- 浄化に使った炭を、連続して長期間使用しないときは、念のため炭を冷蔵庫で保管して下さい。プライパン等で炭を3分程度過熱すれば炭内部の水が蒸発し、より快適な保存環境が期待できます。その際、炭が熱くなりますから取り扱いには注意して下さい。
- 写真は鍋を使っていますが、ヤカンでもいいです。その際、蓋の隙間は開けなくていいです。注ぎ口からガスは蒸発します。
- 少量の水でいいと思われる方は、PET 浄化用炭をお勧めします。但し、使い捨てです。

再利用の仕方！（炭1個当たり）



4

使用した炭を水に入れます。水の量は目分量でいいです。目的は煮沸して中に吸収している不純物を吐き出させることです。



5

沸騰してから3分程度煮て下さい。



6

お湯から出す時にアク等が付着することもありますので、表面だけ洗い流して下さい。そのままと熱いので、しばらく水に漬けてさますのもいいでしょう。

以後、1～3を行って下さい。

説明

このサイクルは3回程度が目安ですが、付着物の有無や、表面の汚れ、炭断面の汚れ等で判断してもらえればいいでしょう。

しかし、炭内部に吸収している物は、なかなか目視できるものではないので適当なところで終了して下さい。

使用後の炭は、燃料として使用しないで下さい。水分があるので爆跳することがあり危険です。